

問1 北アメリカのサンフランシスコ周辺の地域について、その気候条件や産業的な背景を説明した文として正しいものを次の中から選びなさい。

(2020年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. サンベルトの北限付近に位置しており、夏季は寒流の影響で気温があまり上がらず、乾燥する地中海性気候である。1950年代から半導体産業が興り、現在は世界中から研究者が集まっている。 | 2. 年間を通じて降水量が1000mmを超える温暖な地域で、温暖湿潤気候に分類される。19世紀から続く宇宙開発の拠点が集中しており、航空宇宙産業が最も盛んである。 | 3. スノーベルトと呼ばれる地域に位置しており、冬季は積雪が多く非常に寒冷である。五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が伝統的な主要産業となっている。 | 4. 内陸部に位置し、海からの湿った空気が遮断されるため一年中雨が降らない砂漠気候である。豊富な日照時間を活かした太陽光発電ビジネスが最大の産業となっている。 |
|---|---|---|---|

問2 北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の境界に位置するパナマ運河が完成したことで、世界の貿易にはどのような大きな変化が生じましたか。かつての船舶が南アメリカ大陸の南端を大きく迂回して大西洋と太平洋を行き来していた状況を踏まえ、最も適切な説明を選びなさい。

(2025年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. スエズ運河を経由する航路の重要性が高まり、アジアへの移動が容易になった。 | 2. 陸路によるコンテナ輸送が中心となり、海上輸送の利用者が減少した。 | 3. 航路が大幅に短縮されたことで、船舶の輸送時間や燃料費が削減された。 | 4. 航路が延長されたことで、南米諸国の港を利用する貿易機会が増加した。 |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|

問3 アメリカ合衆国のピッツバーグが、世界有数の鉄鋼業の街として発展した地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安価な労働力が豊富に得られるメキシコとの国境付近に位置し、輸出拠点として有利だったから | 2. 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。 | 3. メキシコ湾沿岸で産出される石油と天然ガスを主な原料とし、パイプライン網が整備されていたから。 | 4. 西部の山岳地帯で産出される金鉱や銀鉱の加工拠点として、内陸鉄道網が集中していたから。 |
|--|--|---|---|

問4 北米と欧州の主要国の貿易について述べた次の文のうち、輸出総額が約5000億ドルであり、品目別割合において「原油」が16.3パーセントと最も高い比率を占めている国として正しいものはどれですか。

(2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北米自由貿易協定 (USMCA) を通じて、自動車部品の輸出を急増させているメキシコ | 2. 広大な国土に豊富なエネルギー資源を持ち、アメリカへのパイプライン輸送も盛んなカナダ | 3. EU内での貿易が活発で、高級ブランドの化粧品や医薬品などの化学工業製品に強みを持つフランス | 4. 世界最大の経済規模を誇り、航空機などの高度な機械類の輸出が中心であるアメリカ |
|---|--|--|---|

問5 アメリカ合衆国では、特定の言語を日常的に使用する人々の割合が増加しています。特にラテンアメリカからの移民とその子孫が多く住む地域において、英語とともに標識や案内、放送などで広く見られるようになった言語はどれですか。

(2025年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. ポルトガル語 | 2. フランス語 | 3. 中国語 | 4. スペイン語 |
|-----------|----------|--------|----------|

問6 アメリカ合衆国の諸地域における産業別生産額の割合を比較したとき、南部の産業構造について述べた文として正しいものはどれですか。

(2015年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 製造業の衰退により、国内総生産に占める割合は年々低下し、人口も北東部へ流出している。 | 2. 広大な農地を利用した大規模農業が盛んなため、農業の生産額割合が国内で最も高くなっている。 | 3. ニューヨークなどの都市を擁する北東部と同様に、金融保険業の生産額割合が国内で最も高い水準にある。 | 4. 製造業の生産額割合が、北東部や中西部などの他地域と比較して最も高い数値を示している。 |
|---|---|---|---|

問7 北アメリカ州の工業地域のうち、デトロイトを中心とする五大湖周辺で自動車産業が高度に発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. シリコンバレーに近い立地を活かし、IT技術を駆使した電気自動車の開発が建国当初から盛んだったため。 | 2. 太平洋に面しており、日本などのアジア諸国から輸入した部品を加工・組み立てるのに便利な港湾機能を持っていたため。 | 3. サンベルトと呼ばれる新興工業地域に含まれ、温暖な気候と安価な労働力を求めて企業が集中したため。 | 4. 周辺で採掘される石炭や鉄鉱石などの鉱産資源を利用し、鋼鉄の製造から製品の組み立てまでを一貫して行いやすかったため。 |
|--|--|--|--|

問8 主要な農業国の統計において、穀物自給率が100%を超え、トウモロコシの生産量が世界最大規模である一方で、羊の飼育頭数はオーストラリアなどと比較して少ないという特徴を持つ国はどこですか。

(2019年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|------------|--------|---------|
| 1. 中国 | 2. アメリカ合衆国 | 3. カナダ | 4. ブラジル |
|-------|------------|--------|---------|

問9 アメリカ合衆国の中西部やグレートプレーンズなどの降水量が少ない地域において、地下水を汲み上げ、長い散水用のパイプを回転させて円形に水をまく大規模なかんがい農業の方式を何といいますか。

(2022年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|---------------|-------------|
| 1. 二毛作 | 2. サンベルト | 3. センターピボット方式 | 4. ブランテーション |
|--------|----------|---------------|-------------|

問10 世界の主な農産物の輸出量において、ロシアが16.8%、アメリカ合衆国が13.9%、カナダが11.2%を占めて上位3か国となっている穀物があります。北アメリカの中央平原などで大規模に栽培されているこの農産物として正しいものはどれですか。

(2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|
| 1. 小麦 | 2. 綿花 | 3. とうもろこし | 4. 大豆 |
|-------|-------|-----------|-------|

問11 アメリカ合衆国の2015年における貿易統計において、中国からの輸入額は約4841億ドルであるのに対し、中国への輸出額は約1167億ドルとなっています。このように、特定の国との貿易において輸出額よりも輸入額の方が多い状態を何と呼びますか。

(2017年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 保護貿易 | 2. 貿易黒字 | 3. 貿易赤字 | 4. 垂直分業 |
|---------|---------|---------|---------|

問12 北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が、互いの貿易を活発にするために関税を原則として撤廃することを目的として締結した協定の名称は何ですか。

(2018年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|---------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. 欧州連合 (EU) | 2. 北米自由貿易協定 (NAFTA) | 3. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) | 4. 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) |
|--------------|---------------------|----------------------|-------------------------|

問13 北アメリカなどの大都市では、都市の中心部ではなく郊外に大型のショッピングセンターが多く建設される傾向があります。このような立地が見られる主な理由として最も適切なものを、次の中から選びなさい。

(2019年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため | 2. 郊外は公共交通機関が非常に発達しており、自動車を持たない層の集客が見込めるため | 3. 都市中心部における大規模な商業施設の建設が、法律によって全面的に禁止されているため | 4. 都心部の地価が高いため、建物を高層化して土地を効率的に利用することが求められるため |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 サンベルトの北限付近に位置しており、夏季は寒流の影響で気温があまり上がらず、乾燥する地中海性気候である。1950年代から半導体産業が興り、現在は世界中から研究者が集まっている。	サンフランシスコ周辺は地中海性気候に属し、夏季の乾燥と冷涼な気温が特徴です。この気候はカリフォルニア海流という寒流の影響を強く受けています。また、北緯37度以南の「サンベルト」に含まれるこの地域は、シリコンバレーを中心に、半導体から始まった情報通信技術分野の発展により、世界的な経済・研究の拠点となっています。
問2	答え 3 航路が大幅に短縮されたことで、船舶の輸送時間や燃料費が削減された。	パナマ運河が開通する以前、大西洋と太平洋の間を移動する船舶は、南アメリカ大陸の南端であるマゼラン海峡などを通る非常に長い距離を航行しなければなりませんでした。パナマ地峡を貫くこの運河が完成したことにより、大陸を迂回する必要がなくなり、移動距離が劇的に短くなりました。この航路短縮は、輸送時間の短縮だけでなく、燃料費の節約や輸送効率の向上といった多大な経済的メリットを世界の貿易にもたらしました。
問3	答え 2 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。	ピッツバーグは、アパラチア炭田の石炭や五大湖周辺の鉄鉱石という、鉄鋼生産に不可欠な資源の産地が近接していました。これに加え、五大湖や河川などの水上交通を利用して重量物である原料を効率よく運搬できたことが、巨大な工業地帯へと成長する要因となりました。
問4	答え 2 広大な国土に豊富なエネルギー資源を持ち、アメリカへのパイプライン輸送も盛んなカナダ	カナダは世界有数の資源大国であり、特にアルバータ州などで採掘される原油は主要な輸出項目となっています。輸出総額が約5000億ドルという規模や、工業製品だけでなくエネルギー資源が統計の上位に現れる点は、カナダの経済構造を象徴しています。
問5	答え 4 スペイン語	ラテンアメリカ地域から移住してきたヒスパニックと呼ばれる人々は、主にスペイン語を話します。そのため、彼らが多く居住するアメリカ合衆国南部などの地域では、標識や案内、テレビ放送などでスペイン語が広く使われるようになっています。
問6	答え 4 製造業の生産額割合が、北東部や中西部などの他地域と比較して最も高い数値を示している。	アメリカ南部は、北緯37度以南の「サンベルト」に含まれ、近年急速に工業化が進んだ地域です。その結果、域内の産業別生産額において製造業が占める割合は、伝統的な工業地帯であった北東部や五大湖周辺（中西部）を上回り、全地域の中で最高となっています。これに対し、北東部は依然として金融保険業の割合が高く、中西部は農業の割合が高いという特徴があります。このような産業の発展により、南部の国内総生産のシェアは拡大し続けています。
問7	答え 4 周辺で採掘される石炭や鉄鉱石などの鉱産資源を利用し、鋼鉄の製造から製品の組み立てまでを一貫して行いやすかったため。	デトロイトは、五大湖という水上交通の要所に位置しており、近隣のアパラチア炭田から得られる石炭や、スベリオル湖周辺の鉄鉱石を安価に集めることができた。この原料供給の容易さが、重量のある鉄を多用する自動車製造の爆発的な発展を支えた。なお、サンベルトは北緯37度以南の地域を指すため、五大湖周辺の工業地帯とは異なる。
問8	答え 2 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国はトウモロコシや小麦、大豆の生産において世界トップクラスであり、これらを飼料や輸出に充てているため、穀物自給率は極めて高いのが特徴です。一方、羊の飼育については乾燥帯が広がるオーストラリアの方がより盛んであり、農産物の生産統計から国を特定する際の大きな判断材料となります。
問9	答え 3 センターピボット方式	アメリカ合衆国の西経100度付近より西側の地域は、降水量が少なく農耕には適していませんが、この方式の導入によって大規模な小麦やトウモロコシの栽培が可能になりました。汲み上げた水を、中心点を軸に巨大なアームが回転して散水するため、上空から見ると広大な円形の農場が並んで見えるのが大きな特徴です。
問10	答え 1 小麦	ロシア、アメリカ合衆国、カナダの3か国で世界の輸出量の約4割を占めているのは小麦です。小麦は乾燥に比較的強く、北アメリカの中央平原や、ロシアからウクライナにかけての黒土地帯（チェルノーゼム）などで広範囲に栽培されています。とうもろこしや大豆もアメリカが主要な生産・輸出国ですが、ロシアが輸出の首位となっている点が小麦を特定する大きな指標となります。
問11	答え 3 貿易赤字	ある国との取引において、輸出によって得られる金額（輸出額）よりも、輸入によって支払う金額（輸入額）が上回る状態を貿易赤字といいます。アメリカは自動車や電気機器といった工業製品などの輸入が多く、日本や中国といったアジア諸国に対して多額の貿易赤字を抱えていることが経済上の大きな特徴です。
問12	答え 2 北米自由貿易協定（NAFTA）	アメリカ、カナダ、メキシコの3か国は、経済的な結びつきを強めるためにこの協定を結びました。関税をなくすことで、域内での商品の行き来を自由にし、巨大な一つの市場を作ることを目指しました。現在は、新たな協定であるUSMCAに引き継がれています。
問13	答え 1 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため	北アメリカなどモータリゼーション（自動車の普及）が進んだ地域では、買い物客が自動車で来店することを前提としています。都市の中心部は地価が高く、広い敷地や大規模な駐車場を確保することが困難ですが、郊外は中心部に比べて地価が安いいため、広大な土地を利用した平屋建ての大型店舗や巨大な駐車場の設置が可能になります。このような土地利用の特性が、郊外への施設立地を促しています。